

【神奈川】萩原運送（萩原康大社長、神奈川県葉山町）は昨年11月にグリーン経営認証を取得し、エコドライブ推進による事故防止・品質向上に力を入れている。ことしは社内表彰制度の創設や安全性優良事業所認定（Gマーク）にも取り組む方針。

1907（明治40）年、

萩原運送

馬車屋として創業した老舗。自動車部品輸送をメインに手掛け、大型ウイング車を中心に17両を保有する。4代目となる萩原社長（39）はことし1月、父から経営を引き継いだ。

出入りするトラックにグリーン経営やGマークのステッカーが増えてきたこと。最初は「当社も車両善。特にDRは、グループにステッカーを貼れるようになってほしい」という目的だった。ただ、実際に取り組んだら、3時間連続録画が可能

グリーン経営を取得

グリーン経営
挑戦のきっかけ
は、荷主の工場

みを始めると、燃費だけでなく安全やドライバーの意識向上といった効果があり、本当の良さが分かった」と強調する。

以前「お宅のトラックが危険運転をしている」との誤った通報で荷主から追及を受けた際にも、DR映像が証拠となり、危険運転をしていたのは他社の車両だったことが判明。「ドライ

「社内表彰制度創設も作りたい」と意欲

5年前から全車に取り付けているデジタルタコグラフ、昨年から導入したドライレコーダー（DR）を

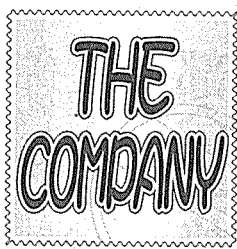
ことしはGマークにもチャレンジする計画で「デジタルコヤグリーン経営活動によって得られたデータを基に、社内表彰制度も作りたい」と意欲を見せる。

を見せる萩原社長

「社内表彰制度創設も作りたい」と意欲を見せる萩原社長

Gマークにも挑戦

バーには監視のためではなく、自分を守るためのツールであることを説明。普段からきちんとした運転を心掛けるよう指導している」と話す。



ことしはGマークにもチャレンジする計画で「デジタルコヤグリーン経営活動によって得られたデータを基に、社内表彰制度も作りたい」と意欲を見せる。

（吉田 英行）

